

# 県内商工会の地域貢献事業紹介

## 北秋田市商工会(県北地区)

### 事業名 商店街が学校に!?【商店街カレッジ事業】

#### 1 事業の内容

北秋田市商店街カレッジ事業は、市内中心街区を大学の仮想キャンパスとし、店を教授、消費者を学生とするコンセプトに基づき、各店の自信を持った「こだわり」や「店・商品の特徴」「ノウハウ」を、消費者に対して惜しみなく伝えるとき同時に、専門性や特色をアピールする“授業”を実施するものです。

平成25年12月1日に体験入学を開催、学長である商工会長のあいさつで開校し、市内12店が教授となり、「魚の姿造り」「プロスタッフが教えるスキーワックスの秘密」「親子でクリスマスケーキ」「蕎麦打ち体験」「介護予防筋力アップ教室」など、延べ36回の魅力的な授業をカリキュラムとして、およそ1ヶ月半の期間で実施しており、学生・教授ともに大好評をいただいております。

#### 2 事業の効果

本事業の狙いは、【消費者に店の存在や特徴を知っていただくと共に、店とお客様のコミュニケーションから信頼関係を構築し、購買だけでなく店を訪れる動機づくり】です。

これまでに実施した、いくつかの授業のアンケート結果を見ると、「授業が楽しかった」「また開催して欲しい」「店・商店街のイメージが変わった」「友達に教えたい」など、好印象の回答が数多く、今後に大きな期待を持てる内容でした。

こうした反響を受けて、今後の商店街カレッジは、北秋田市の商業エリア毎にキャンパスを拡大し、さらに魅力的なカリキュラムを用意して多くの学生を受け入れることとしておりますし、今までも、そしてこれからも、賑わいを創出する魅力ある商店街で有り続ける事を目的として継続開催する予定です。



## 湖東3町商工会(中央地区)

### 事業名 だまこの郷づくり事業PartⅢ

#### 1 事業の内容

だまこの郷づくり事業の最終年度として、町外から人を呼び込み、町全体の飲食店を盛り上げようと、「だまこの郷満点ポイントラリー」と「五城目朝市と湖東地域をめぐる 湖東3町満喫モニターツアー」を企画しました。

モニターツアーは10月20日の朝市イベントに合わせて募集したところ、39名の方に参加していただきました。五城目町では朝市きのこまつり、同時開催の全国朝市サミットのプレイベント、G級グルメまつり「だまこ鍋合戦」、福祿寿酒造を見学していただきました。八郎潟町では、伝統芸能の願人踊りを体験し、あんごま餅を買い求め、井川町では日本国花苑のバラ園などの景色を楽しんでもらい、湖東3町をぐるっと1周しました。参加者に対して行ったアンケートでは、又機会があれば参加したいと記入いただき好評で終了しました。

「だまこの郷満点ポイントラリー」は、10月12日～14日秋田駅前で開催した、全県商工会おもてなしまつりからスタートしました。湖東3町の参加店18店で「だまこ鍋」や「だまこロ」などの創作料理を食べると、200円ごとにシールを1枚もらえ、15枚で満点となり応募できます。1月末までの応募締め切りとなっています。

#### 2 事業の効果

今年度は町外からお客様にきてもらい、お食事やお買物をしてもらう事を目的に事業を実施しております。モニターツアーでは地元の食である、だまこ鍋、あんごま餅を食べてもらい、朝市で買物をし、地元の文化にふれていただきました。参加者が地元に戻り湖東3町の魅力を伝えてもらうことで、今後湖東3町を訪れる人が増えるものと確信しております。今年度は初めての取り組みとして、モニターツアーを企画しましたが、来年は国民文化祭が開催されるため、同様な企画を実施したいと考えております。



願人踊り体験



福祿寿酒造見学



## 大仙市商工会(県南地区)

### 事業名 大仙ニコニコ商品券発行事業

#### 1 事業の内容

長引く景気低迷から企業を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況となっていることから、大仙市内事業所の「景気浮揚」と「地域内消費の拡大」を図り、大仙市の地域振興及び活性化を支援することを目的として、大曲商工会議所とともに「大仙ニコニコ商品券発行事業」を実施しております。

本事業は、大仙市より補助をいただき、総額5億円の10%プレミアム付き商品券を発行するもので、7月14日(日)に大仙市商工会各支所及び大曲商工会議所にて発売いたしました。(ご好評につき10月15日をもって完売いたしました。)この商品券は大仙市商工会・大曲商工会議所の会員であり、大仙市内に事業所を置く加盟店にて使用することができます。

#### 2 事業の効果

事業実施にあたり、会員へ加盟店募集を行ったところ、273事業所より申込をいただきました。本事業は平成21年度にも開催しており、その際の加盟店申込は204事業所であったことから、会員数が減少するなかで加盟店が増加したということは、本事業への会員の期待が表れたものであると考えます。

また、大仙市商工会の商品券販売担当分は2億5千万円分でしたが、順調に販売を重ね、最終的には3億1千万円分を販売するに至りました。購入者からは「プレミアム分でもとても得をした。」「大きな買い物を考えていたので助かった。」など好意的な声が多数聞かれ、加盟店からも「来客が増えた。」「売上が増加した。」などの報告をいただき、事業の目的である「景気浮揚」と「地域内消費の拡大」に貢献することができたと思っております。

商品券の有効期限は平成26年1月13日(月)までとなっており、大仙市商工会では使い忘れないように、商品券すべての期限内使用を呼び掛けていくこととしております。

